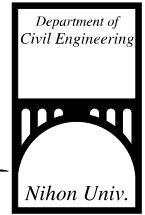


2007年9月号

シビル メール ニュース



これまでに配信されましたシビルメールニュースは、「日本大学理工学部土木工学科」のホームページ (<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp>)より『OB向け情報』→『シビルメールニュース』でご覧いただけます。なお、シビルメールニュースをE-mailにて配信ご希望の方または購読を希望される方は、卒業年次・氏名・勤務先・配信メールアドレスを明記の上、mailnews@civil.cst.nihon-u.ac.jpで購読申し込みをしてください。

発行責任者 土木工学科教授・教室主任 岸井隆幸

A0 入試受付始まる

A0 (Admission Office) 入試とは自己推薦入試のことで、日本大学理工学部土木工学科へ入学を希望されるすべての方に開かれている入学試験です。この入試の特徴は、学力だけでははかりきれない多彩な能力、活動、人物を評価して、合否を判定する試験です。将来の夢や希望など、目的を持った前向きで意欲的な方、自分自身で問題を見つけ、解決できる力を持った主体性のある方の受験をお待ちしています。理工学部の A0 入試を受験される方は、志望学科に出願する前にエントリーを行ってください。志望学科への出願については、エントリー後、理工学部の A0 入試担当者との対話をとおして学科への理解を深めてから、決めることができます。試験は、事前課題の成果発表や質疑応答、自己 PR、ミニ講義など行います。また、選考は各学科の入学者受入方針に基づいて行い、時間をかけてさまざまな角度から評価します。

A0 入試ホームページ

<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/nyushi/nyu04.html>

平成 20 年度 A0 入試日程

エントリー期間	～9月7日(金) エントリーシートの提出 ※ 出願前にエントリーが必要です
↓	
出願期間	8月31日(金)～9月7日(金)
↓	
試験日	10月21日(日)
↓	
合格発表	10月22日(月)12:00
↓	
手続期間	10月23日(火)～11月6日(火)

問い合わせ・申し込み先

日本大学理工学部入試事務室(1号館1階)

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台1-8-14

電話 03-3259-0578

Fax 03-3259-0446

E-mail ao@adm.cst.nihon-u.ac.jp (AO入試専用)

nyushi@adm.cst.nihon-u.ac.jp

平成 19 年度 (第 51 回) 日本大学理工学部学術講演会

平成 19 年度 (第 51 回) 日本大学理工学部学術講演会が 12 月 1 日 (土) に日本大学理工学部駿河台校舎 1 号館で開催されます。本学の卒業生の方々も参加できますので、興味のある方は是非ご参加ください。なお、講演登録、投稿ともに平成 19 年 9 月 3 日 (月) ～10 月 3 日 (水) 午後 5 時までとなっております。募集要項に関しましては講演申し込み用ホームページの募集要項よりご確認ください。 (<http://secure1.gakkai-web.net/gakkai/cst/index.html>)

CST オープンキャンパスが開催

7月29日(日)船橋キャンパスにおいて、日本大学理工学部主催のCSTオープンキャンパスが開催されました。土木工学科のブースは14号館の2階、1421教室にて開かれ、ミニ講義は11号館1階の1111教室にて行われました。1421教室の土木工学科のブースには14研究室から50名の学生が「環境保全」「都市防災」「先端技術」の3つのテーマを基にそれぞれの研究室や研究内容についての紹介を行いました。学科全般を紹介したパネルや相談コーナーなども用意し、土木工学科のブースには333人の高校生が参加し、大いに盛り上がっていました。ミニ講義では野村卓史教授の「風の猛威に立ち向かう土木技術者」、松島眸教授による「自然界の環境修復機能で湖沼の水質を守る！」が行われ、多数の高校生が熱心に聴講しておりました。



ミニ講義をされる野村先生



ミニ講義をされる松島先生



土木学会 平成19年度全国大会が開催される

土木学会 平成19年度全国大会が9月12日から14日に「人口減少下における地域の活力向上をめざして ～土木技術者からの提言～」とのテーマのもと、広島大学東広島キャンパスにて開催されます。この全国大会には本学科の教授・大学院生も多数発表者として参加する予定です。詳細は土木学会のホームページにて掲載されておりますのでご覧ください。

(大会情報ホームページ <http://www.jsce.or.jp/taikai2007/>)



全国大会パンフレット

公務員入試情報の募集に関してOBの方からの便り

8月号(第20号)の「平成20年度公務員試験1次試験結果が発表」に関して下記の様な旨のメールをいただきました。「シビルメールニュースに公務員試験の結果が記載されていましたが、全国の公務員の卒業生から、情報を集めたらどうでしょうか?もっと多くの学生が受験しても良いのではないですか?」

土木工学科ではOBの皆様方からの意見を参考にして今後の対策を行う予定ですので、このようなご意見をどしどしお寄せくださるよう、お願い申し上げます。宛先は以下の通りです。

〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14 4号館3階438B 土木工学科事務室 CMN編集委員会宛
TEL 03-3259-0687 FAX 03-3293-3319 E-mail Zimushitsu@civil.cst.nihon-u.ac.jp

日大土木 Who's who

日大土木とともに歩んだ偉人を紹介するコーナーです。岩沢忠恭先生は日大高等工学校土木工学科の創立に携わり、道路工学の講義を担当された先生であります。



No. 4

氏名：岩沢 忠恭 (いわさわ ただやす)

専門分野：道路工学

略歴：

1891年(明治24年) 6月 広島県広島市に生まれる
1918年(大正7年) 京都帝国大学土木工学科を卒業
内務省内務技手
1919年(大正8年) 大分県技師
1920年(大正9年) 日本大学教授
1942年(昭和17年) 内務省国土局道路課長
1949年(昭和24年) 建設省建設事務次官

岩沢忠恭先生は 1920 年(大正 9 年) 日本大学高等工学校設立に参画され、長年に亘り、日本大学で道路工学を教授され、多くの卒業生を社会に輩出されました。

岩沢先生の土木事業における工事施工ならびに施設管理についての業績は、主として内務省(現国交省)の直轄土木事業にあげられます。道路関係においては新京浜国道の建設で、都市における近代的道路の設計・施工ならびにこれに伴う橋梁・舗装技術の研究開発等があります。治水関係においては、荒川の改修・維持事業に携わり、大河川の開削、閘門・水門等の構造物の建設ならびにその管理に多くの業績を残されました。また、昭和 22 年のカスリーン台風による利根川の決壊に際しては、その災害復旧に全力を傾け、困難な締切工事ならびに改修工事の指導にあたられました。

戦後の混乱期以降は、主として中央本省にあつて、建設行政全般にわたりその責任者として、内務省の解体に伴う建設院の設置、つづいて建設省の発足に献身し、土木行政の今日の基礎を固めることに貢献されました。そして昭和 25 年以降は、参議院議員として国会活動を通じて、特に公共事業の推進に必要な制度の創設、予算の確保に多大に功績を残されました。また、岩沢先生の土木界における業績の評価は、終戦期の波乱怒涛の時期に際して、将来への展望を失った多くの技術者に対して適切な指針を与え、さらに行政・政治を通じて今日の建設行政の基礎づくりを行い、近代化への路線を設定したことについて、きわめて大なるものがあり、今日の土木界への影響は明白な歴史的事実となっています。参議院議員時代には、地元広島の度重なる太田川の氾濫に対し、積極的に力を入れ、百十億円の国費と三十数年の歳月を費やして、太田川の改修工事を完成させました。1965 年に太田川放水路と大芝水門・祇園水門の完成により、現在の太田川は平和都市・広島を静かに流れています。その功績を称え、大芝水門脇の太田川工事事務所大芝出張所前には、岩沢の胸像が飾られています。技術者としての岩沢先生が、このように行政官としてさらには国会議員としてわが国の建設事業に広く残した功績は、後代の土木技術者に多大な感銘を与えたものとして特記すべきものであります。

参考文献：土木と 200 人、土木学会

最近の教員活動状況



安田陽一教授が8月23日に札幌日大高校において、「水生生物の遡上・降河に配慮した魚道の流れの解明について ―土木技術者のチャレンジャー」と題する講演を行いました。

安田陽一教授が8月7日に河川技術懇談会に River Counselor として出席されました。



後藤浩専任講師が8月6日～7日に浜松市グランドホテルにおいて開催された私学連盟FD (Faculty Development) 推進会議新人教員研修会議に参加しました。後藤浩専任講師の談；

8月6日～7日にグランドホテル浜松において行われた(社)日本私立大学連盟主催の平成19年度FD推進会議(新任専任教員向け)の教員研修に参加しました。本研修会のコーディネーターは、関西大学学長の河田先生であり、基調講演には元東京農業大学学長の進士先生が招かれていました。本研修会では、人文社会系・工学系・理学系ほか複数の分野の71名(平均年齢37歳)の若手教員が集められ、グループに分かれて「良い授業・悪い授業」とのテーマの集団討論や、参加者全員が模擬授業を実施し、良いところと悪いところを指摘しあうなど自己研鑽を目的とする企画が実施されました。しかしながら、新任教員とはいえ、予備校や複数の大学で非常勤講師の経歴をもつ若手教員が多数集まっていたため、高度な教授テクニックを披露しあう研修となりました。今後、若手に限らず授業を持つ教員全員が授業に対する研鑽を怠ることが学生確保の成否に直結するものと思われれます。



大沢昌玄助手が7月25日に大垣日本大学高等学校で出前講義を実施しました。大沢昌玄助手の談；

7月25日、岐阜県大垣市の大垣日本大学高等学校において、『『都市』を眺め、そして創る』と題し、出前講義を行いました。当日は、約30名の受講者に対し、「高校がある大垣市の都市形成史とまちづくり」について概略説明を行った後、実際にまちづくり課題と基本構想立案の演習を実施しました。自分が住んでいる地域の都市問題を解決すべく、紙面いっぱい問題点と解決方策を記していた生徒もいて、感心いたしました。最後に、まちづくり実例を紹介し終了しました。講義後、「土木」に対するイメージが変わった、とのお話を頂戴しホッとしましたところでした。

なお、土木工学科として、様々なメニューの出前講座を用意しておりますので是非ご活用ください。詳細は、<http://www.civil.cst.nihon-u.ac.jp/demae/>に掲載されています。

OB 情報

(株)影山工務店社長の影山隆一氏(S.54院卒)が平成18年度一級河川戸沢川河川改良工事で静岡県建設部優良建設土木工事に選ばれ、静岡県より8月9日表彰されました。

(株)川嶋建設社長 川嶋実氏(S.47卒)は平成19年度建設事業関係功労者として7月10日、国土交通省より表彰されました。

石川県工科校友会が土木工学科 安田陽一教授の出席の下、8月4日、和倉温泉ホテル加賀屋にて開催され、校友47名が参加されました。なお、今年度から石川県工科校友会会長が村山卓治氏から引地捷氏に引き継がれました。